（別紙３）

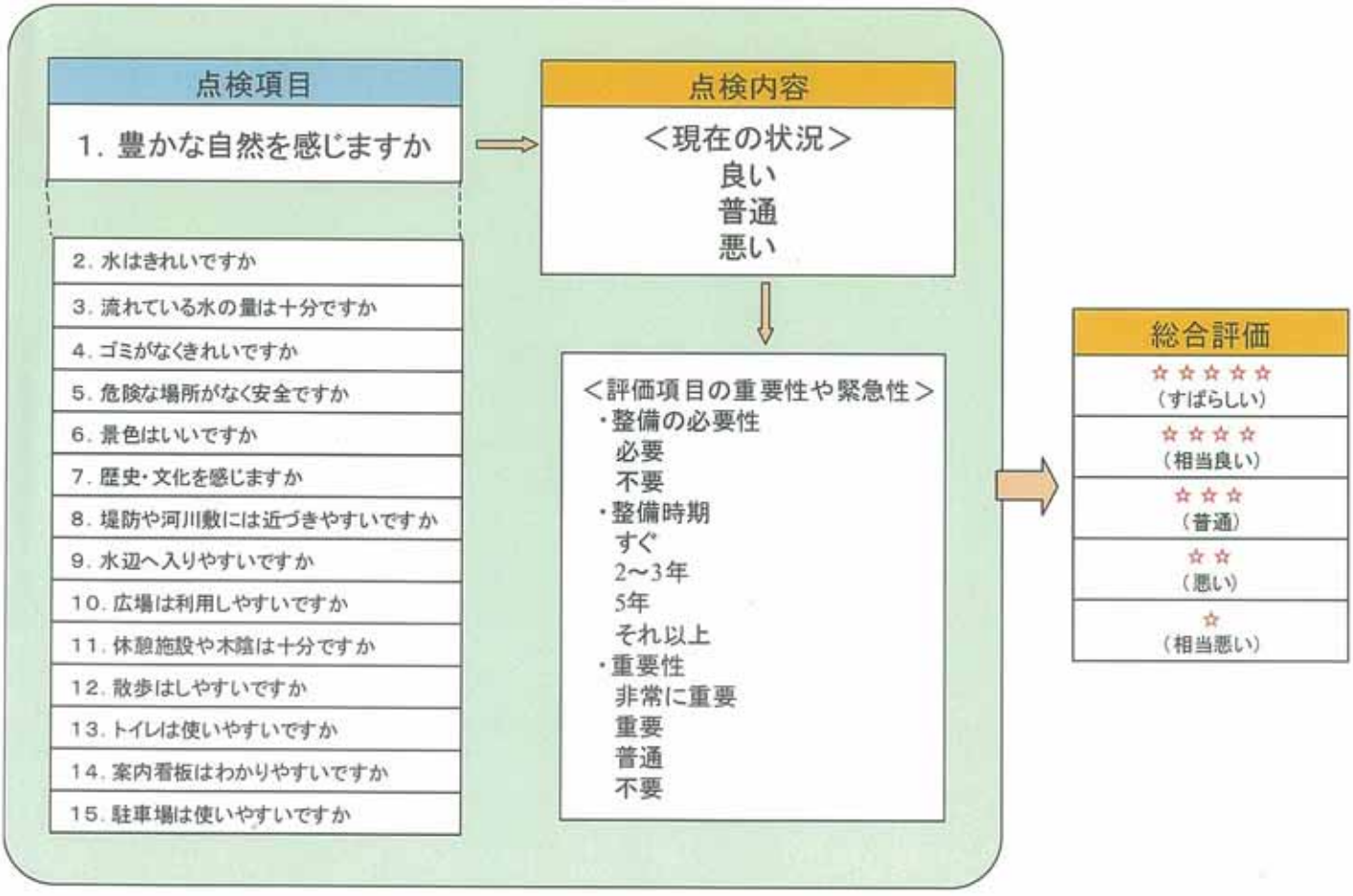
「川の通信簿」について

目　的

- 河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図ります。

点検内容

- 15の点検項目があり、箇所毎にそれらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に5段階評価を行います。



（注意）この通信簿は、点検者が主観的に評価するものであり、川の優劣をつけるものではありません。

成果の活かし方

- 市民と行政が良い点・悪い点の情報を共有し、今後のいい川づくりに活かします。

  →今後の河川整備メニューの抽出など

- 川の有する魅力ある点をＰＲし、河川愛護の普及や環境学習、観光振興等に活かします。

  →魅力ある河川空間マップの作成など

「川の通信簿」によるよりよい川づくりへのイメージ

